

財 産 目 録

令和 6 年 6 月 30 日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額			
(流動資産)	現金 預金	現金手許有高	運転資金として	39,847			
		普通預金	運転資金として				
		静岡銀行下土狩支店		6,937,448			
		静岡銀行沼津支店		1,221,595			
		三井住友信託銀行静岡		218,331			
		ゆうちょ銀行振替口座		8,806,202			
	棚卸資産	三島信用金庫下土狩		33,548			
		書籍	事業普及用書籍				
		米山梅吉伝		762,170			
		超我的人		1,219,896			
	米山梅吉の登音						
	点描 米山梅吉		12,716				
	梅吉物語		78,050				
	米山梅吉ものがたり		1,653,139				
流動資産合計				20,982,942			
(固定資産)	基本財産	土地					
			宅地403.71㎡ (上土狩字東通346-3)		12,227,000		
			宅地1,339.10㎡ (上土狩字東通346-1)		40,508,000		
			宅地534.75㎡ (上土狩字東通346-2)		16,176,000		
			宅地231.4㎡ (上土狩字東通346-4)		7,000,000		
			山林665.00㎡ (上土狩字東通345)		20,661,000		
			基本財産引当預金	定期預金			
				三井住友信託銀行静岡 三島信用金庫下土狩		22,140,000	
			特定資産	建物 構築物 什器備品 減価償却引当預金		新館・旧館建物	107,593,367
						外構工事ほか	164,117
		可動式書庫ほか			1		
		建物再取得引当預金					
	普通預金				1,969,930		
	スルガ銀行長泉支店				13,746,000		
	ゆうちょ銀行振替口座				5,027,939		
	静岡銀行沼津支店						
	定期預金	建物再取得引当預金					
	静岡銀行下土狩支店				11,002,871		
	静岡銀行沼津支店		23,717,169				
	スルガ銀行長泉支店		10,000,000				
ゆうちょ銀行下土狩		13,039,400					
三井住友信託銀行静岡		11,500,000					
沼津信用金庫定期預金		10,009,809					
退職給与引当預金	普通預金	従業員退職用預金					
	静岡銀行下土狩支店		2,261,570				
50周年事業引当預金	普通預金						
	静岡銀行長泉支店		46,532,276				
	定期預金						
	静岡銀行下土狩支店		6,001,675				
その他固定資産	火災保険積立金	東京海上日動日動火災 保険	建物火災保険前払金	209,000			
固定資産合計				391,347,124			
資産合計				412,330,066			
(流動負債)	預り金	源泉所得税	令和6年1月～6月分	88,862			
流動負債合計				88,862			

公益財団法人米山梅吉記念館

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(固定負債)	退職給付引当金	退職給付引当金	従業員退職引当	2,261,570
固定負債合計				2,261,570
負債合計				2,350,432
正味財産				409,979,634

公益目的保有財産の明細

財産種別	公益認定前取得 不可欠特定財産	公益認定後取得 不可欠特定財産	その他の 公益目的保有財産	使用事業
合計				

事業 年度	自	令和5年7月1日	法人コード	A005366
	至	令和6年6月30日	法人名	公益財団法人米山梅吉記念館

## 役員等名簿

### 1. 評議員(公益財団法人の場合のみ)

フリガナ(姓/名)		氏名(姓/名)		常勤 非常勤
ナカヤマ	マサクニ	中山	正邦	非常勤
オカモト	カズハチ	岡本	一八	非常勤
ノグチ	エイイチ	野口	英一	非常勤
コバヤシ	ソウイチロウ	小林	聰一郎	非常勤
トガワ	マチエ	外川	正知恵	非常勤
ヤギシ	サダオ	矢岸	貞夫	非常勤
オノ	タケシ	小野	毅	非常勤
イトウ	マサユキ	伊藤	雅之	非常勤
カネガエ	ヨシミツ	鐘ヶ江	義光	非常勤
ミヤジマ	ケンジ	宮島	賢次	非常勤
マエジマ	マサタカ	前島	正容	非常勤
ツジ	ヒデカズ	辻	秀和	非常勤
トクイ	ヒトシ	得居	仁	非常勤
イシイ	ナリアキ	石井	宣明	非常勤
アライ	カズオ	新井	和雄	非常勤
ハブ	ダイニン	羽部	大仁	非常勤
ミヤザト	ユイコ	宮里	唯子	非常勤
イハラ	マコト	井原	實	非常勤
ナガタ	ソウイチ	永田	壮一	非常勤

### 2. 理事

代表理事は、その者の「代表理事」の欄に「レ」を記載してください。

フリガナ(姓/名)		氏名(姓/名)		常勤 非常勤	代表 理事
マツムラ	トモヨシ	松村	友吉	非常勤	レ
タダ	ユキオ	多田	幸雄	非常勤	
ホシノ	ヨシタダ	星野	喜忠	非常勤	
ホソザワ	テツヤ	細澤	哲哉	非常勤	
カネコ	マコト	金子	信	非常勤	
ミズノ	イサオ	水野	功	非常勤	
スズキ	タカシ	鈴木	喬	非常勤	
マツミヤ	タケシ	松宮	剛	非常勤	
ナリカワ	モリヒコ	成川	守彦	非常勤	

イケダ	オサム	池田	修	非常勤	
ヤスヒラ	カズヒコ	安平	和彦	非常勤	
イデ	カズヒデ	井手	和英	非常勤	
タカノ	マゴザエモン	高野	孫左エ門	非常勤	
ヤマザキ	ジュンイチ	山崎	淳一	非常勤	
アダチ	コウイチ	足立	功一	非常勤	
ヤマグチ	カズイチ	山口	和一	非常勤	
タキザワ	コウジ	滝沢	功治	非常勤	
タナカ	ヒサオ	田中	久夫	非常勤	
トネ	ショウベエ	刀根	莊兵衛	非常勤	
ウルシバラ	セツコ	漆原	摂子	非常勤	

### 3. 監事

フリガナ(姓/名)		氏名(姓/名)		常勤 非常勤
イグチ	ヨシアキ	井口	賢明	非常勤
ミヤウチ	マサトシ	宮内	正敏	非常勤
ヒサマツ	タダシ	久松	但	非常勤

公益財団法人米山梅吉記念館役員、評議員  
及び諮問委員の報酬及び費用に関する規程

(目的及び意義)

第1条 この規程は、公益財団法人米山梅吉記念館（以下当法人という。）定款第13条、第26条及び第33条の規定に基づき、役員、評議員及び諮問委員の報酬等及び費用に関し必要な事項を定めることを目的とし、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の規定に照らし、妥当性と透明性の確保を図ることとする。

(定義等)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいい、評議員及び諮問委員と併せて役員等という。
- (2) 常勤理事とは、理事のうち、当法人を主たる勤務場所とする者をいう。
- (3) 非常勤役員とは、役員のうち、常勤理事以外の者をいう。
- (4) 諮問委員とは、定款第32条の定めにより、評議委員会の決議を経て、理事長により委嘱された者をいう。
- (5) 報酬等とは、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条第13号で定める報酬、賞与その他の職務遂行の対価として受ける財産上の権利及び退職慰労金であって、その名称のいかんを問わない。費用とは明確に区分されるものとする。
- (6) 費用とは、職務の遂行に伴い発生する通動手当、交通費、旅費(宿泊費を含む。)及び手数料等の経費をいう。報酬等とは明確に区分されるものとする。

(報酬等の支給)

第3条 当法人は、役員等の職務執行の対価として報酬を支給しない。ただし、常

勤理事の職務執行の対価として報酬を支給することができる。

2 常勤理事に報酬を支給する場合は、月額15万円を超えないものとし、毎月月末に、口座振込みにより支給する。

3 常勤理事の退職に当たっては、退職慰労金を支給しない。

#### (費用)

第4条 当法人は、役員等がその職務の遂行に当たって負担した費用については、これを請求のあった日から遅滞なく支払うものとし、また前払いを要するものについては前もって支払うものとする。

2 常勤理事には、通動手当を支給することができる。その計算方法は別に定める。

#### (公表)

第5条 当法人は、この規程をもって、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第20条第1項に定める報酬などの支給の基準として公表するものとする。

#### (改正)

第6条 この規程の改正は、評議員会の決議により行うものとする。

#### (補則)

第7条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事長が理事会の承認を得て、別に定めるものとする。

#### 附則

この規程は、公益財団法人米山梅吉記念館の設立の登記の日から施行する。

## 貸借対照表

令和6年6月30日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金・預金	17,256,971	24,251,707	△ 6,994,736
書籍	3,725,971	3,789,676	△ 63,705
流動資産合計	20,982,942	28,041,383	△ 7,058,441
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	96,572,000	96,572,000	0
基本財産引当預金	32,000,000	32,000,000	0
基本財産合計	128,572,000	128,572,000	0
(2) 特定資産			
建物	107,593,367	112,792,653	△ 5,199,286
構築物	164,117	227,432	△ 63,315
什器備品	1	1	0
減価償却引当預金	100,013,118	95,012,558	5,000,560
退職給付引当預金	2,261,570	2,141,552	120,018
50周年事業引当預金	52,533,951	59,392,647	△ 6,858,696
特定資産合計	262,566,124	269,566,843	△ 7,000,719
(3) その他の固定資産			
火災保険積立金	209,000	459,800	△ 250,800
その他の固定資産合計	209,000	459,800	△ 250,800
固定資産合計	391,347,124	398,598,643	△ 7,251,519
資産合計	412,330,066	426,640,026	△ 14,309,960
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	88,862	47,687	41,175
流動負債合計	88,862	47,687	41,175
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,261,570	2,141,552	120,018
固定負債合計	2,261,570	2,141,552	120,018
負債合計	2,350,432	2,189,239	161,193
III 正味財産の部			
一般正味財産	409,979,634	424,450,787	△ 14,471,153
(うち基本財産への充当額)	( 128,572,000 )	( 128,572,000 )	( 0 )
(うち特定資産への充当額)	( 262,566,124 )	( 269,566,843 )	( △ 7,000,719 )
正味財産合計	409,979,634	424,450,787	△ 14,471,153
負債及び正味財産合計	412,330,066	426,640,026	△ 14,309,960

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法  
最終仕入原価法によっている。
- (2) 固定資産の減価償却の方法  
法人税法に基づく定額法により減価償却を行い、直接法で処理している。
- (3) 引当金の計上基準  
退職給付引当金については、要支給額の全額を引き当てている。
- (4) 消費税等の会計処理  
税込処理によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
土地	96,572,000			96,572,000
定期預金	32,000,000			32,000,000
小 計	32,000,000	0	0	32,000,000
特定資産				
建物	112,792,653		5,199,286	107,593,367
構築物	227,432		63,315	164,117
什器備品	1			1
減価償却引当資産	95,012,558	5,000,560		100,013,118
50周年事業引当資産	59,392,647	120	6,858,816	52,533,951
退職給付引当資産	2,141,552	120,018		2,261,570
小 計	269,566,843	5,120,698	12,121,417	262,566,124
合 計	301,566,843	5,120,698	12,121,417	294,566,124

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
土地	96,572,000	(0)	(96,572,000)	(0)
定期預金	32,000,000	(0)	(32,000,000)	(0)
小 計	128,572,000	(0)	(128,572,000)	(0)
特定資産				
建物	107,593,367		(107,593,367)	0
構築物	164,117		(164,117)	0
什器備品	1		(1)	0
減価償却引当資産	100,013,118		(100,013,118)	0
退職給付引当資産	2,261,570			(2,261,570)
50周年事業引当資産	52,533,951		(52,533,951)	0
小 計	262,566,124	(0)	(260,304,554)	(2,261,570)
合 計	391,138,124	(0)	(388,876,554)	(2,261,570)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建物	309,565,632	201,972,265	107,593,367
構築物	33,104,703	32,940,586	164,117
什器備品	19,666,727	19,666,726	1
合 計	362,337,062	254,579,577	107,757,485

付 属 明 細 書

令和5年7月1日から令和6年6月30日まで

1. 基本財産及び特定資産の明細

単位：(円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	土地	96,572,000			96,572,000
	定期預金	32,000,000			32,000,000
	基本財産計	128,572,000	0	0	128,572,000
特定資産	建物	112,792,653		5,199,286	107,593,367
	構築物	227,432		63,315	164,117
	什器備品	1			1
	減価償却引当資産	95,012,558	5,000,560		100,013,118
	退職給付引当資産	2,141,552	120,018		2,261,570
	50周年事業引当資産	59,392,647	120	6,858,816	52,533,951
	特定資産計	269,566,843	5,120,698	12,121,417	262,566,124

(注) 1. 建物・建築物の減少は、減価償却によるものである。

2. 減価償却引当資産の増加は、ゆうちょ銀行への積立によるものである。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	2,141,552	120,018			2,261,570

## 正味財産増減計算書

令和5年7月1日から令和6年6月30日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①基本財産運用収入	838	1,340	△ 502
基本財産利息収入	838	1,340	△ 502
②特定資産運用収入	2,129	6,274	△ 4,145
特定資産利息収入	2,129	6,274	△ 4,145
③賛助会収入	4,447,000	3,222,500	1,224,500
	4,447,000	3,222,500	1,224,500
④研修補助金収入	2,000,000	2,000,000	0
	2,000,000	2,000,000	0
⑤寄附金収入	11,806,374	11,145,030	661,344
地区寄付金収入	3,471,300	3,624,200	△ 152,900
特別寄付金収入	7,320,847	4,908,403	2,412,444
百円募金寄付金収入	660,227	1,978,427	△ 1,318,200
施設使用料寄付金収入	354,000	387,000	△ 33,000
50周年記念寄付金	0	247,000	△ 247,000
⑥普及事業収入	145,410	234,180	△ 88,770
普及事業収入	145,410	234,180	△ 88,770
⑦雑収入	176	223,168	△ 222,992
受取利息	176	168	8
雑収入	0	223,000	△ 223,000
経常収益計	18,401,927	16,832,492	1,569,435
(2) 経常費用			
①事業費	30,606,594	23,996,075	6,610,519
給料手当	4,405,946	3,677,215	728,731
退職給付費用	102,014	102,013	1
法定福利費	500,038	506,241	△ 6,203
旅費交通費	750,060	431,345	318,715
通信費	579,458	590,213	△ 10,755
減価償却費	4,797,831	5,446,640	△ 648,809
事務費	231,997	288,277	△ 56,280
記念館修理費	0	817,746	△ 817,746
水道光熱費	1,385,108	1,608,966	△ 223,858
租税公課	15,000	0	15,000
普及費	603,447	738,422	△ 134,975
館報発行費	1,137,070	1,137,180	△ 110
記念館運営諸費	1,283,249	1,545,653	△ 262,404
文庫運営諸費	400,000	400,000	0
委託費	339,200	740,190	△ 400,990
50周年事業費	14,003,005	5,805,140	8,197,865
雑費	73,171	160,834	△ 87,663

科 目	当年度	前年度	増減
②管理費	2,266,486	2,116,041	150,445
給料手当	777,521	648,921	128,600
退職給付費用	18,004	18,004	0
法定福利費	88,244	89,337	△ 1,093
会議費	259,405	270,848	△ 11,443
旅費交通費	403,880	232,264	171,616
通信費	102,259	104,156	△ 1,897
減価償却費	464,770	464,446	324
事務費	6,194	7,695	△ 1,501
記念館修理費	0	84,844	△ 84,844
水道光熱費	143,711	166,936	△ 23,225
慶弔費	0	23,100	△ 23,100
雑費	2,498	5,490	△ 2,992
經常費用計	32,873,080	26,112,116	6,760,964
当期經常増減額	△ 14,471,153	△ 9,279,624	△ 5,191,529
当期一般正味財産増減額	△ 14,471,153	△ 9,279,624	△ 5,191,529
一般正味財産期首残高	424,450,787	433,730,411	△ 9,279,624
一般正味財産期末残高	409,979,634	424,450,787	△ 14,471,153
Ⅲ 正味財産期末残高	409,979,634	424,450,787	△ 14,471,153

正味財産増減計算書内訳表

令和5年7月1日から令和6年6月30日まで

(単位：円)

科目	合計	公益目的事業				法人会計
		記念館運営	講演・印刷物	米山文庫	共通	
1 一般正味財産増減の部						
I 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 基本財産運用収入	838	712	83	43	0	0
基本財産利息収入	838	712	83	43	0	0
② 特定財産運用収入	2,129	1,809	213	107	0	0
特定財産利息収入	2,129	1,809	213	107	0	0
③ 賛助会収入	4,447,000	4,002,300	444,700	0	0	0
④ 研修補助金収入	2,000,000	1,800,000	200,000	0	0	0
⑤ 寄付金収入	11,806,374	8,133,516	915,236	457,622	0	2,300,000
地区寄付金収入	3,471,300	2,950,605	347,130	173,565	0	0
特別寄付金収入	7,320,847	4,267,719	502,084	251,044	0	2,300,000
百円募金寄付金収入	660,227	561,192	66,022	33,013	0	0
施設使用料寄付金収入	354,000	354,000	0	0	0	0
⑥ 普及事業収入	145,410	0	145,410	0	0	0
⑦ 雑収入	176	158	18	0	0	0
受取利息	176	158	18	0	0	0
雑収入	0	0	0	0	0	0
経常収益計	18,401,927	13,938,495	1,705,660	457,772	0	2,300,000
2 経常費用						
① 事業費	30,606,594	26,359,804	3,523,032	723,758	0	0
給料手当	4,405,946	3,965,352	440,594	0	0	0
退職給付費用	102,014	91,813	10,201	0	0	0
法定福利費	500,038	450,035	50,003	0	0	0
旅費交通費	750,060	675,054	75,006	0	0	0
通信費	579,458	521,513	57,945	0	0	0
減価償却費	4,797,831	3,717,169	825,700	254,962	0	0
事務費	231,997	206,749	25,248	0	0	0
水道光熱費	1,385,108	1,184,834	131,478	68,796	0	0
租税公課	15,000	15,000	0	0	0	0
普及費	603,447	0	603,447	0	0	0
館報発行費	1,137,070	0	1,137,070	0	0	0
記念館運営諸費	1,283,249	1,157,490	125,759	0	0	0
委託費	339,200	305,958	33,242	0	0	0
文庫運営諸費	400,000	0	0	400,000	0	0
50周年事業費	14,003,005	14,003,005	0	0	0	0
雑費	73,171	65,832	7,339	0	0	0
② 管理費	2,266,486	0	0	0	0	2,266,486
給料手当	777,521	0	0	0	0	777,521
退職給付費用	18,004	0	0	0	0	18,004
法定福利費	88,244	0	0	0	0	88,244
会議費	259,405	0	0	0	0	259,405
旅費交通費	403,880	0	0	0	0	403,880
通信費	102,259	0	0	0	0	102,259
減価償却費	464,770	0	0	0	0	464,770
事務費	6,194	0	0	0	0	6,194
記念館修理費	0	0	0	0	0	0
水道光熱費	143,711	0	0	0	0	143,711
雑費	2,498	0	0	0	0	2,498
経常費用計	32,873,080	26,359,804	3,523,032	723,758	0	2,266,486
当期経常増減額	△ 14,471,153	△ 12,421,309	△ 1,817,372	△ 265,986	0	33,514
当期一般正味財産増減額	△ 14,471,153	△ 12,421,309	△ 1,817,372	△ 265,986	0	33,514
一般正味財産期首残高	424,450,787	364,035,986	12,659,635	27,531,036	0	20,224,130
一般正味財産期末残高	409,979,634	351,614,677	10,842,263	27,265,050	0	20,257,644
II 正味財産期末残高	409,979,634	351,614,677	10,842,263	27,265,050	0	20,257,644

## 令和5年度事業報告

### 1 概要

本年度は、4年振りに理事、評議員及び監事が一斉に改選となり、新たに寄付促進・広報委員会委員長に多田幸雄副理事長が、展示室リニューアル・資料整理委員会委員長に星野喜忠副理事長が就任されたなかで、来館ロータリークラブを中心とした寄附促進活動と展示室リニューアルに向けた準備作業等を積極的に行ってまいりました。

特に、創立50周年事業については、これまで順次執行してきた式典開催、広報用DVD制作や館内空調設備の改修等に続き、その中心的な取り組みとも言うべき2階展示室のリニューアルを実施し、令和6年9月の秋季例祭に完成させるべく、展示室リニューアル・資料整理委員会において活発に議論し、準備しております。

また老朽化により、長年雨漏り等支障のあった屋根樋については、寄付者の皆様のご理解を得て、50周年事業として修繕を行うことが出来ました。

さらに、より多くの皆様に当記念館の魅力をアピールし、来館者の増加につながるよう、周辺施設を含めた案内マップの作成なども行いました。今後も引き続き、展示室リニューアルの具体的な作業を進めるとともに、書籍電子化作業など残された50周年事業を円滑に実施出来るよう努めてまいります。

なお、これまでも館庭の除草や芝刈り、植木の剪定など環境整備につきましては、記念館を例会場とする長泉RC、裾野RCはじめロータリアン個人による常時のご奉仕をいただいておりますが、今年度も同様のご協力をいただきました。心から感謝申し上げます。

### 2 委員会活動

#### ① 寄付促進・広報委員会

新たな寄付体系として、クラブ単位の米山梅吉記念館コーポレーター、個人を対象としたフェロー制度の実施は承認されていたものの、広報手段や宣伝ツールなどの細部につき継続審議となっておりますが、本年度は、新たに「記念館周辺ガイドマップ」や「ご寄付のお願い」など具体的な案がまとまったことから業務執行理事への一任となりました。

今後は、賛助会員制度のさらなる周知と定着を図るとともに、広報活動については、その在り方や成果指標を単に寄付金収入の多寡ではなく多様な観点から推し測りつつ、迅速かつ機敏に実施することといたしました。

#### ② 展示室リニューアル・資料整理委員会

2階展示室のリニューアルについては、受託事業者として(株)シードを選定し、秋季例祭のリニューアルオープンに向け順次作業を進めています。特にリニューアルのコンセプトを詰める基本設計の策定に関しては、本年度6回にわたる資料整理委員会を開催し、様々な議論を行ってきました。

また、ロータリー文庫からは、全国のロータリークラブに係る貴重な文献をいただき、その収蔵整理を行いました。

### 3 館報の発行

春秋年2回の館報を発行いたしました。

VOL.42 秋号（R5年8月発行）は、関東大震災を詠んだ米山の短歌について、春季例祭での小坂文乃氏による講演、米山の肖像画を揮毫した洋画家白瀧幾之助との関係についての記事等の構成で発刊しました。

VOL.43 春号（R6年3月発行）は、三井信託株式会社初代社長としての米山の取組みについて、秋季例祭でのリチャード・ダイク氏による講演、茅ヶ崎湘南 RC 神崎正陳氏による「ポール・ハリスと米山梅吉について」の記事等の構成で発刊しました。

また、全国のロータリークラブ、ロータリー関係者及び賛助会員に2600余部を発送しました。発送には、新寄付制度による賛助会入会のお願いなどを同封し、事務局、運営委員、他多くの有志の協力をいただきました。休日の貴重な時間にご奉仕いただき感謝をしております。館報にあたっては、記事の募集、執筆には毎回苦辛しており、今後、紙面作りへのご意見も頂き、様々な形で多くの皆様のご協力を仰ぎたいと存じます。

### 4 広報活動

館報以外では、ホームページのほか、SNSの活用により、来館状況などタイムリーな情報発信による広報の充実を図っております。特に米山別邸から当館の入口に移植されたリュウゼツランが93年ぶりの開花の兆しを見せているとの情報には多くの関心が寄せられました。

### 5 入館者の推移（添付資料明細）

今年度（R5.7.1～R6.6.30）の来館者は2,946人、来館クラブは141となっており、前年比では来館者数全体で256人、クラブ数で2の減少となっています。コロナの収束により増加してきた反動もあると考えていますが、今後、当館の認知度の向上に向け努力してまいります。

なお、来館に際しては、学芸員による案内説明に加え、特に各地区ロータリークラブへの来館対応として、寄付促進・広報委員会委員長である副理事長はじめ運営委員がおもてなしつつ、新寄付制度の周知や記念館の広報に務めております。

### 6 米山文庫の状況

今年度の来館者は3,745名、うち子供は1,824人、貸出冊数は9,322冊となっており、前年比では来館者数で539人、貸出冊数で479冊の増加となっています。

米山文庫の運営は当館にとっては、公益性を示す重要な活動の柱であり、地域の図書館教育の推進に、ますますその役割が増してきております。今後共、長泉ロータリークラブや長泉町立図書館とタイアップしつつ、地域に根付いた図書館活動を進めてまいります。

## 7 法人会議

### (1) 理事会の開催及び承認事項

- ア 令和5年8月26日(土)
  - ・令和4年度事業報告
  - ・令和4年度決算
  - (1) 貸借対照表、(2) 損益計算書、(3) 損益計算書付属明細書、(4) 財産目録、(5) 米山記念館50周年記念事業特別会計
  - ・理事任期満了による候補者選定
  - ・評議員任期満了による候補者選定
  - ・監事任期満了による候補者選定
  - ・定時評議員会開催日
- イ 令和5年9月16日(土)
  - ・理事長、副理事長、専務理事の選任
  - ・事務局長の選任
- ウ 令和6年4月27日(土)
  - ・令和5年度収支補正予算
  - ・新寄付制度承認
- エ 令和6年6月15日(土)
  - ・令和6年度事業計画及び収支予算

### (2) 定時評議員会

- ア 令和5年9月16日(土)
  - ・令和4年度収支決算
  - (1) 貸借対照表、(2) 損益計算書、(3) 損益計算書付属明細書、(4) 財産目録(5) 米山記念館50周年記念事業特別会計
  - ・任期満了による理事選任
  - ・任期満了による評議員選任
  - ・任期満了による監事選任

## 8 記念館業務

### (1) 執行役員会の定例開催

代表理事、業務執行理事、監事等で構成する執行役員会を毎月定例的に開催し、記念館の運営に関する事項を協議決定しています。

### (2) 記念館運営委員会の活動

近隣のロータリークラブから推薦された9名の委員により編成されています。委員会の全体会議は4回開催されました。また1班3名のグループを3班編成して、各月の担当班を決め、来館者対応するとともに、春季例祭の運営、館報発送作業、例祭前の記念館環境整備奉仕作業などを行いました。

### (3) 事務局連絡会の定例開催

常務理事と事務局の連絡会を隔週で開催し、法人各会議の事前準備をはじめ処務、会計等の決裁や業務の進め方について協議し、円滑な業務の遂行を図っています。

# 監査報告書

公益財団法人米山梅吉記念館 令和5年度（令和5年7月1日～令和6年6月30日）における財産及び業務の執行状況並びに諸帳簿・諸証拠等について監査したところ、適正であることを認めたので、報告します。

令和6年 8 月 8 日

監 事 井 口 賢 明 

---

監 事 久 松 但  

---

監 事 宮 内 正 敏 

---